



大人の自覚を新たにした新成人の皆さん

新成人の皆さんおめでとうございます。

どんな時でも希望を捨てず、それぞれの目標を
もって進んでください。

若い力を発揮し、さらなる成長で花開け

洞爺村成人式

一人ひとりが今後の抱負を述べる



式典は、新成人の皆さんが父母や来賓の皆さんの拍手が送られる中、入場して始まりました。

続いて、主催者のあいさつがあり、菊地村長より、「皆さんは成人し選挙権など権利を与えられますが、同時に大人として責任ある行動が求められます。今皆さんは人生でいちばん輝いているときです。多くの人と出会い、友人をたくさんつくり、人を好きになってください。自己に

閉じこもったり、逃避せず、堂々と伸び伸びと行動してください。これからの新しい町づくりや納得できる世の中をつくるため力を合わせていただきたい。」と激励しました。

また、蓮井教育委員長は、「現在の日本は壊れているとも言われており、今後若い皆さんたちが国を立て直していくこ

とを期待しています。よき社会人として日々の生活の中で、自分のことだけでなく、少しでも周りのことに目を向けて発言し、行動していただきたい。」と若い世代へ期待を込めてあいさつしました。

さらに、来賓を代表して、佐々木村議会議長は、「日本が優れているのは、小さな努力を積み重ねることができる国民性にあり、優秀な国民であることを自覚して、洞爺で育てられた力を存分に発揮して、社会で大きく花開かせていただきたい。」とお祝いの言葉を述べました。

その後、新成人一人ひとりが大人としての自覚を新たに、して今後の抱負を力強く話し、父母や来賓の皆さんから大きな拍手が送られました。

成人式後、引き続き、洞爺中学校卒業時の担任の傳法大祐氏（現室蘭市立鶴ヶ崎中学校教諭）が祝杯の音頭をとり、祝賀会が行われました。

新成人の皆さんは、恩師や同級生との久しぶりの再会を

喜び、懐かしい思い出やお互いの近況を伝え合うなど、楽しいひとときを過ごしました。

成人おめでとうございます。

（敬称略）

▽一町内 小笠原紀子

▽二町内 野田奈々子

▽四町内 木村 明穂

▽五町内 佐藤 文枝

▽緑沢 小西 和也、

宮武 宣臣、菖蒲川裕美

▽美沢西

傳 将紀、大西奈津美

▽曙

竹田 竜一、藤川 聡司

▽成香 小野寺 勲、

及川 大、小山 陽平、

白石 力仙、田中 賢治

▽香川 田中 健、

矢野 那美、毛利 智寛

▽大原 大廣 昭彦、

矢野 隆一、菊地 紀佳

▽村外 矢元 聖士

災害のない一年を祈願

消防出初式

一月七日、新春恒例の洞爺消防出初式が行われました。

午前九時四十分、団員と職員、消防車両が洞爺支署を出発し、市街地を通り総合センターまで防火を呼びかけながら街頭行進を行いました。



表彰を受ける団員の皆さん

表彰を受ける団員の皆さん
昨年、世界的に、パキスタン地震やアメリカのハリケーンなどの大災害、全国的にも台風や洪水、

地震、大雪などの自然災害やJR脱線事故などの大災害が頻発しております。本村においても建物火災での住宅全焼や大雨による土砂流出被害などが発生しました。今年こそは、このような災害のない平和な年であってほしいと願わずにはいられません。」と式辞を述べました。

それに対して佐伯団長より「消防の広域再編により洞爺消防団は、洞爺湖消防団三、四分団となります。また、近年においては、台風や大雨による災害が増え、村内においても大雨による崖くずれや土砂流出被害が発生しています。これからの自然災害や火災など、不測の事態に備え、団員一同、活動技術を高めてまいりたい」と答辞を述べました。また、永年勤続等の表彰も行われました。

表彰者は、次の方々です。

(敬称略)

◇北海道知事表彰

▼十年勤続

班長 宮武紀代子
団員 大廣 芳博
南出由美子
大西 由美
星 直美
和泉奈津江

▼二十年勤続

班長 藤川 栄治
団員 大西 俊則

◇北海道消防協会会長表彰

▼十年勤続

班長 宮武紀代子
団員 大廣 芳博
和泉 新一
南出由美子
大西 由美
星 直美
和泉奈津江

▼二十年勤続

班長 藤川 栄治

団員 大西 俊則

▼三十年勤続

副団長 矢野 克典

▼功績章

副団長 森川 光一

◇洞爺村長表彰 (特別感謝状)

▼二十年勤続

班長 藤川 栄治
団員 大西 俊則

◇西胆振消防組合管理者表彰

▼二十年勤続

班長 藤川 栄治
団員 大西 俊則

▼三十年勤続

副団長 矢野 克典

◇西胆振消防組合消防長表彰

▼精勤賞

班長 宮武紀代子
団員 南出由美子



こんな事業に 取り組んでいます

教育委員会

とうや小学校の校章及び校歌が決まりました

小学校の適正配置について、小学校統合検討協議会を立ち上げるなど、統合に当たっての課題解決や準備を進めてきましたが、新生小学校となる『とうや小学校』の校章及び校歌が次のとおり決まりました。

校章については、村の象徴や子どもの未来をデザインしており、校歌については、テンポのよい明るいメロディーの曲となっていますので、子どもたちにすぐ馴染んでもらえるものと期待しているところです。

(1) 校章

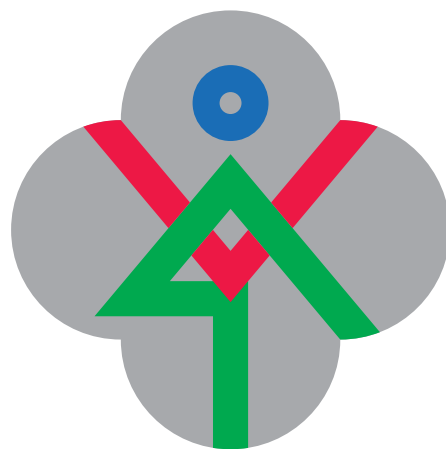
製作者：池田^{いけだ} 信^{しん}（グラフィックデザイナー）

デザインコンセプトの概要

花のような外形は、それぞれ築き上げてきた伝統を持つ4つの小学校が融合し誕生した「とうや小学校」を表しており、大地にしっかりと立ち、未来に向けて両手を思いっきり伸ばした子どもの姿をシンボリックにデザインされています。

色彩については次のとおりとなっています。

ブルー：洞爺湖、とうやの子の知性
グリーン：老三樹、洞爺村を見守る羊蹄山、
とうやの子の優しさ
レッド：とうやの子の持つ強さ、
未来を拓く情熱
シルバー：雪



(2) 校歌

作詞：藤田 咲美
(香川小学校校長)

作曲：花坂 しづ
(留寿都中学校音楽教諭)
(元洞爺中学校音楽教諭)

作詞の意図
洞爺村の風景と子ども達への
願いを込めて作詞しています。

とうや小学校 校歌

一、緑の風が みずうみに
さざ波立てて 吹いている
今日も元気に 声高く
ひびき合わせて すごそうよ
明るく学ぶ とうやの子

二、桜とせんと 桑の木が
支えてくれた 遠い日々
はるかな心 受けついで
励まし合って すごそうよ
強く生きる とうやの子

三、ほほえみかける えぞ富士に
大地と空が 続いている
明日をつくる 夢広げ
希望を持って すごそうよ
未来を拓く とうやの子

いきがい交流センターで「いきいき事業」

洞爺村社会福祉協議会

美しい字を書きたい

書道教室

洞爺村社会福祉協議会では高齢者の生きがいのある生活を実現するため「いきいき事業」として各種教室を、いきがい交流センターにおいて開催しています。

一月二十三日は、書道の教室が行われ、講師の天野武夫さんは、「来る人は年賀状を筆



集中して基本的な筆使いの練習に励む

で書きたい、きれいな字を書きたいと言う。漢字を組み立てる点と画を練習すれば、後は形を整えれば美しい字が書ける。とにかく繰り返し書くことです。楽しみながら続けてほしい。」と話していました。この日集まった皆さんは、時々質問したり指導を受けながら基本的な点や画、基本となる字を繰り返し熱心に書き続けていました。

誰でも時には、もつときれない字を書きたいと思うものではないでしょうか。月二回一時間半行われており、どなたでも参加できます。

黒の芸術

切り絵教室

一月二十四日は、鈴木孝さんを講師として切り絵教室が開かれていました。この日は、初めての参加者を含む七名の



細かい部分は、より慎重に作業を進める

皆さんが、講師の指導を受けながら切り絵に取り組んでいました。

長く続けている小学生たちは、独自に細かい作業を続けるかたわら、初めての皆さんも、最初にアートカッターで、基本的な紙の切り取り方を教わり練習した後、課題のバラ

の花の切り絵に取り組みまし

た。細かい部分に苦労しながらも、二時間の時間内で作品を仕上げて、「面白い」と満足した様子でした。切り絵は、「黒の芸術」とも言われ、練習次第で黒だけで立体感を出し表現することができるといことです。皆さんも参加してみてはいかがでしょうか。

寒さに負けないぞ

村民ナイタースキー教室

教育委員会と洞爺スキークラブの共催による村民ナイタースキー教室が、一月十、十三、十七、二十日の四回にわたり、ルスツスキー場において行われました。

厳寒のこの時期に毎年行われている事業ですが、七十名を越える参加があり、人気事業となっています。

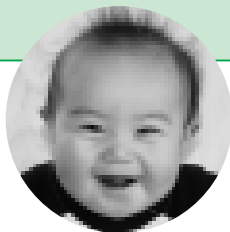
小学生から大人まで幅

広い年代の参加があり、洞爺スキークラブの先生方のわかりやすい指導のもと熱心に練習をしていました。

今年は雪の降る中での教室となりましたが、参加者からはスキーがうまくなりたいという情熱と、寒さを吹き飛ばすやる気を感じられました。



寒さに負けず頑張る



りょうや
木村 凌也くん

☆平成17年7月13生まれ
☆長男 ☆3町内

お父さん お母さん
慎一さん 有希さん

力強く、たくましく育ってほしいと願って名付けました。

おかあさんからひとこと



誰にでもやさしくできる元気な子に育ってほしいです。



かい
三浦 夏維くん

☆平成17年7月23生まれ
☆次男 ☆4町内

お父さん お母さん
隆文さん 奈緒美さん

大暑に生まれたので、「夏」を使って、呼びやすい名前になりました。

おかあさんからひとこと



健康でやさしく、たくましい子になってください。

軽快なサウンド「水の駅」に響く

洞中吹奏楽部ウィンターコンサート



練習の成果を披露する

外のイベント

一月二十一日、洞爺水の駅で洞爺中学校吹奏楽部のウィンターコンサートが洞爺観光協会、洞爺中学校吹奏楽部父母の会の後援で開かれ、九十人あまりの村民などが詰め掛け、軽快なサウンドを楽しみました。洞爺中学校吹奏楽部は、平成十六年度に三十数年ぶりに再発足され、学校祭や文化祭、村内

に参加し演奏を行ってきました。今回は、三年生が引退し、一、二年生の十名と顧問二名での演奏となり、このコンサートに向けて冬休み中も練習を重ね、その成果を披露しました。コンサートでは、ラデツキ行進曲などのクラシック曲を始め、アニメやTVゲーム曲、演歌メドレーなどを演奏し、来場者から惜しみない拍手が送られ、アンコールにも応えていました。また、昨年ヒットした「恋のマイアヒ」の演奏では、歌いながら、踊りだす子どもたちもいました。

おくやみ

申し上げます

矢野 榮吉さん

12月30日死去

73歳
香川

糸田 菊江さん

1月4日死去

94歳
5町内

野田 ユイ子さん

1月10日死去

72歳
2町内

広報とうや三月号発行について

村民の皆様、いつも「広報とうや」をご覧いただきありがとうございます。

昭和四十一年一月号より発行された「広報とうや」も虻田町との合併により次号で最終号となります。

最終号は二月・三月の洞爺村としてのイベント等を載せ、通常三月十日発行のところを三月二十五日頃、発行いたしますのでご了承ください。